

令和6年度田辺市地域福祉計画策定・推進委員会会議録

日時：令和7年3月18日（火）午後3時から午後4時30分まで

場所：田辺市民総合センター 2階交流ホール

策定・推進委員

〔出席委員〕松端委員 福榮委員 井溪委員 野見委員 大久保委員 木村委員 佃委員
員 谷中委員 馬場崎委員 鹿毛委員 横畑委員 室谷委員 宮田委員

〔欠席委員〕初山委員 番委員 楠本委員 新谷委員

事務局：宇津福祉課長 早稲田庶務係長 笠松主査 小畑子育て推進課参事 加藤地域包
括支援センター係長 新田障害福祉室長 中西健康管理係長 勇惣

オブザーバー 市社会福祉協議会：手谷主任

令和6年度田辺市地域福祉計画策定・推進委員会（以下「策定・推進委員会」という。）の次第に沿って、早稲田庶務係長が司会進行を行い、出席委員の紹介を行った。また、委嘱状の交付は、机上配布とした。

続いて、宇津福祉課長が開会の挨拶を行った。

続いて、武庫川女子大学心理・社会福祉学部心理・社会福祉学科教授 松端委員から、資料「地域福祉の推進と包括的支援体制」について講演いただいた。講演では、地域共生社会（制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域とともに作っていく社会）について解説いただいたとともに、今後目指すべき社会の在り方（包括的支援体制や重層的支援体制整備事業）についてご説明いただいた。

次に、議事「(1) 委員長・副委員長の選出」について、策定・推進委員会の委員長1人・副委員長2人の選任を委員の互選により行った。委員から事務局一任との声があったため、委員長には、地域福祉の推進にご尽力いただいている田辺市民生児童委員協議会会長の井溪委員を、副委員長には、地域社会で活躍する市民活動団体及びボランティアの活動拠点確立と、より充実した公共、公益サービスを提供するための環境づくりにご尽力いただいている特定非営利活動法人市民活動フォーラム田辺副理事長の鹿毛智子委員と、学識経験者の松端委員を推薦したところ、出席委員の過半数の拍手及び異議なしとの声をもって承認された。

井溪委員長の進行により、議事「(2) 令和6年度における第4次田辺市地域福祉計画の取組状況」について、事務局の勇惣事務員から、昨年度の評価より改善された項目や今後の支援体制といった点に内容を絞って報告したところ、次のとおり質疑・提言があった。

質疑・提言①：室谷委員（P81 男女共同参画について）

項目「6.男女共同参画の推進」とあるが、「男女共同参画」の意味が分かりにくいので、他にわかりやすい表現はないか。

また、「1 事業の概要」について、「性別に関わりなく、互いの人権を尊重し、男女がそれぞれの能力と個性を十分に発揮することができる男女共同参画社会づくりを推進します。」とあるが、文頭に「性別に関わりなく」と記載していることから、「男女が」という文言はおかしいので削除できないのか。

LGBT などになるので表現を考えた方がよいと考える。

質疑・提言①への回答：早稲田庶務係長

いただいたご意見については、既に第4次計画は策定済みであることから、修正は難しい。第5次計画で同様の文書があれば修正することとする。

質疑・提言②：大久保委員（P43 成果の評価について）

成果を評価したのはだれか。また、自殺対策の関係は障害者施策推進協議会でも議論されているが、この委員会でも議論するのか。

質疑・提言②への回答：勇惣

成果については、担当課の回答となる。

質疑・提言②への回答：新田

地域福祉計画は、各保健福祉計画の最上位計画となり、高齢者、障害者等の様々な施策について記載されている。その一つの項目として評価することは必要と考える。

質疑・提言③：室谷委員

大塔地区では、人口減少や各事業などへの参加者が減るなか、「one 大塔」という地域が一つとなって関わっていくこと目指して取り組んでいる。本日の松端委員の話を聞いて、one 大塔という活動も必要であると感じました。

以上で提言は終了となり、議事は承認された。

【次回の策定・推進委員会の開催予定時期及び現任委員の任期について】

次回は令和8年3月頃の開催を予定しており、令和7年度における主な取組状況についての報告及び第5次地域福祉計画策定に向けて実施する住民アンケート調査の結果等についてご説明させていただきたいと考えております。

開催時期が近づいてまいりましたら、事前に、開催のご案内等を送付させていただきますので、よろしくお願いいたします。